

特殊詐欺被害集中対策に係る第2回危機管理対策会議概要

日時：令和5年10月5日（木）午後4時30分～5時30分
場所：吹田市役所 高層棟3階 災害対策本部会議室
出席者：別紙「危機管理対策会議 出席者」のとおり

議題1：本市特殊詐欺被害の状況について（資料1）

議題2：特殊詐欺対策に関する各部取組状況の中間報告について（資料2）

議題3：今後の重点対策について（資料3）

ア 年金給付日における無人ATM・時間後ATMの警戒強化

イ 防犯機能付き電話機購入補助制度の周知推進

ウ 若年層への啓発強化

議題4：各部からの報告

資料1	本市特殊詐欺被害の状況について
資料2	特殊詐欺被害防止に資する各部取組進捗一覧
資料3	重点対策における取組について

【議題1、2及び3について】

事務局より現在の特殊詐欺被害の状況や傾向、各部の取組み照会の結果報告、今後の重点対策について、資料1、2及び3に基づき、説明。

【議題4 各部からの報告】

（危機管理監）

【重点対策に関する取組】高校生、大学生に対する「闇バイト」の危険性の周知

高等学校においても生徒に危険性を伝える機会を設けるとともに、大学連携推進協議会の枠組みで大学生に対する講習会を実施予定である。

（総務部長）

【重点対策に関する取組】ATM機警戒強化に当たり、全庁の職員応援体制で対応

金融機関窓口の営業終了後など、無人となったATM機の警戒強化を実施するに当たり、10月から12月までの年金支給日を含む各月1週間程度、それぞれ50人程度の応援要員を確保するため協力を依頼する。

（福祉部長）

【重点対策に関する取組】特殊詐欺集中対策本部の構成団体に社会福祉協議会が参画

社会福祉協議会では、おおむね小学校区を単位として、市内に33の地区福祉委員会を組織しており、見守り・声掛け訪問やいきいきサロン、ふれあい昼食会等、高齢者を対象とした活動を展開している。今後、社会福祉協議会と連携しそういった活動の際に、特殊詐欺に対する注意喚起をさせていただく予定としている。高齢者に直接届ける機会が大幅に増え、被害が減っていくことが期待される。

（市民部長）

【重点対策に関する取組】防犯機能付電話機等補助制度の周知徹底を強化

吹田警察署、社会福祉協議会と連携し、いきいきサロン、ふれあい昼食会等に出向いたり、再被害防止の観点から警察が行っている高齢者個別訪問に同席し、防犯機能付電話機等の普及啓発と補助金申請の丁寧な説明を実施していく。

特殊詐欺防犯機能付電話機等購入補助事業申請状況について

9月25日から受付を開始し、10月4日現在で175件の申請があった。北千里地区公民館（9/25）、千里ニュータウンプラザ（9/29）で説明会を実施し、数十名の市民が参加。本日もメイシアターで実施予定。併せて、公民館、集会所、パナソニックスタジアム吹田などあらゆる機会を活用して啓発チラシの配布を行っている。

(学校教育部長)

中学生に対する「闇バイト」の危険性の周知について

これから社会に出ていく中学生に対して、全校集会等の機会を使って、動画やパンフレット等を活用し、闇バイトの危険性を周知していく。その際、闇バイトを端緒にして、特殊詐欺に加担した場合、結局は犯罪集団から使い捨てられた上に、一生を台無しにする、といったことをしっかりと伝えていきたい。

(都市魅力部長)

各種啓発周知活動について

Inforest すいたにおいて、ダスキンレスキューと吹田警察署のコラボイベントを実施。8月26日には空き巣被害防止の啓発セミナー、8月29日には年金被害の防止啓発セミナーを開催、MBSのアナウンサーも参加し、テレビの報道で取り上げられている。9月3日の「吹田フェスタ2023」においては、吹田警察署がブースを出展し、啓発活動を実施した。また、高齢者が多く訪れる商店街においてはチラシの掲出を行っている。2,300社が加入している吹田商工会議所ニュースでも取り上げてもらっている。今後は、秋にかけて多くの高齢者が参加する文化スポーツのイベントにおいても啓発を図る予定である。

(健康まちづくり室長)

健康医療部の取組状況の補足について

この間、3師会に協力いただき、チラシ配布を実施することになっている。また、10月2日には理容組合が主催する理容衛生講習会において、警察を講師として招き、啓発を行い、利用者に声かけを行った。理容組合は理髪店の集まりであり、利用者も高齢者が多いことから直接的な啓発ができると考えている。

(水道部次長)

水道部取組状況の補足について

通常ポストに投函する水道利用料金のお知らせについて、一部の高齢者については直接手渡しをする声かけサーブスを行っているが、その時にチラシも渡している。また、当該高齢者の緊急連絡先（通常は親族）にも見守りの注意喚起を行っている。また、水道相談においても同様にチラシを渡している。

秋から冬にかけてはイベントが増えるので、啓発を実施する予定である。直近では10月7日に千里山の千里寺で行われる「Oっと千里山秋のフェスタ」や、地域で実施する組み立て式給水機の設置訓練においてもチラシ配布等の啓発を行う。また、大和大学の学園祭において片山連合自治会が出展するブースの一部を水道部に割り当てられているので、そこで直接学生に働きかけができないか検討している。

(地域教育部長)

公民館については日ごろから高齢者が多く啓発を行っており、各公民館の主催講座において吹田警察署にも協力をいただきながら高齢者への啓発を行っている。図書館も9月21日から千里山図書館を皮切りに、全図書館10か所で特殊詐欺関連資料の特設コーナーを設置して、できるだけ市民の方の目に触れるようにしている。その他、全図書館に設置のデジタルサイネージについても、画像で直接的に視覚に訴えるような形で配信している。

【事務局より連絡】

10月19日（木）の関係者調整会議は必要に応じて関係する部長に参加要請を行う。また、24日（火）に第2回吹田市特殊詐欺集中対策本部会議を行うので出席をお願いする。

本部長指示事項

- 本市では、全市一丸となり特殊詐欺対策を短期集中的に取り組むことで、特殊詐欺犯が吹田では「やりにくい」という印象を持たせることも目的としている。そのため特殊詐欺に関する周知啓発は全庁的に発信をより強化し、戦略的・戦術的にターゲットを絞って行うこと。啓発効果をあげることに尽力し、特に、マスコミに取り上げてもらうための工夫を行うこと。
- 警察と密に連携し、特殊詐欺被害や通報・相談が多い地域のエリアや対象を絞って警戒・啓発を行うこと。

副本部長指示事項

- 年末にかけて被害が増える傾向にあるため、庁内の協力体制を強化していくこと。
- ATM 警戒・啓発にあたっては防災服と腕章を着用し、市民やマスコミへわかりやすく PR を行うこと。
- 広報については、市民や犯人側にどう見えるかを意識して、プラスαの取組みを考えること。

【第 1 回会議での本部長指示事項及び副本部長指示事項 進捗状況】

□・・・未完了 ■・・・着手から実施中 ※完了事項については掲載していません。

本部長指示事項

- 9月からモードを切り替えて「できることはなんでもやる」をキーワードに、各種団体・大学・企業も巻き込んで職員総動員で対応していくこと。

副本部長指示事項

- 市内には、資産がある独居の高齢者やコンビニ等の店舗が多いなど、詐欺の被害に遭う条件が揃っていると警察からも言われている。詐欺に遭う方は平時では注意しているものの、電話等で冷静さを失わせられ被害にあっている。被害を0（ゼロ）とするのは難しいが、撲滅への機運を盛り上げ各種対策を実施していくこと。
- 集中対策期間では、吹田市が吹田警察や金融機関、コンビニなど市全体で特殊詐欺対策に取り組んでいることを積極的に PR すること。また、特殊詐欺の手口は日々変わっていくことから、柔軟に対策をとる必要があり、特に集中対策期間中は、吹田警察や関係機関とも十分に情報共有していくこと。